

登山計画書 / 報告書

オレンジハイキングクラブ(技研部/山行部/自然保護部/ひまわり/事務局)

山域 山名	石谷山(754m), 九千部山(847m)		実施日	2015/9/27(日)		責任者(CL)	鎗水		
			天候	快晴		計画者(報告者)	鎗水		
行程	(往) 諫早駅6:20/西諫早駅6:30~東脊振IC~中副を左-31号線-立石交差点を左 ~御手水の滝キャンプ場8:15/8:30~石谷山10:10/10:20~九千部山(昼食)11:35/12:00 (復) 九千部山12:00~石谷山13:00~御手水の滝キャンプ場13:50/14:00~とりごえ温泉14:20/15:20 ~鳥栖IC15:35~西諫早駅17:00 3班行程 御手水の滝キャンプ場8:30~石谷山10:40/10:45~御手水の滝キャンプ場(昼食)12:00/12:30 ~御手水の滝13:00/13:10~御手水の滝キャンプ場13:30 *出来るだけエスケープルートも計画しておく/報告書では実績時刻に修正して提出の事)								
No	氏名	班	役割	乗車	No	氏名	班	役割	乗車
1	鎗水 律夫	1	1PL	西諫早	11	工藤 学	2		西諫早
2	田中 静香	1	1SPL	球場前	12	下釜 ミツ子	2	会計	〃
3	兵庫 芳隆	1		西諫早	13	山下 ちず子	2		〃
4	松岡 正樹	1	救助	〃	14	吉川 春美	2	感想	〃
5	山口 イツ子	1	救護	〃	15	岩永 のり子	2		諫早 R
6	山下 文代	1	会計	〃	16	高森 陽子	3	3PL	〃
7	小熊 義人	1		大村 IC	17	小山 準之助	3		〃
8	高田 純二	2	2PL	西諫早	18	林 孝子	3	3SPL	西諫早
9	大久保 瓢舟	2	2SPL	〃	19				
10	間ノ瀬 浩彦	2	救助	〃	20				
携 帯 品	地図	1/2.5万			団体装備	トランシーバ、救急薬			
	個人装備	ハイキング A, B, C による 弁当、行動食、非常食、水分 地形図・コンパス、レスキューカード、保険 証コピー、労山会員証、携帯電話			参加費	¥ 3,000(野崎 090-4992-4820)			
		温泉	とりごえ温泉栖の宿(0942-82-5005)						
		留守本部	中須賀(0957-26-5153/090-9074-1522)						
経 費 明 細	収入 3,000×18=54,000			登山概要(概念図などは別紙とする) 駐車場より登り方向左岸を進み、まもなく沢を3回渡渉。水量が少なく、特に問題なし。御手水の滝の上部に出たからは多少傾斜がきつくなるが、予定通り1:40で石谷山着。15人は更に九千部山まで「九州自然歩道」歩き。晴天の下、落ち葉の積った平坦な歩きやすい登山道であった。帰りは御手水の滝分岐まではピストンで、そこから御手水の滝に崖の九十九道を下り、御手水の滝を経由して駐車場へ戻った。第3班の3人はゆっくり石谷山までピストンし、下山した所(キャンプ場)から御手水の滝まで階段状の道を往復。					
	支出 車両代: 23,000 運転代: 10,000 燃料代: 4,940 (250km/107円: 5.5km/L) 往高速: 3,010 復高速: 3,010 謝礼: 2,000 資料代: 計: 45,960			問題点・反省点 毎度大小のハプニングがあるが、色々な経験によって知識・知恵として向上して行くものと思うので、気にせず切磋琢磨しよう。 なお、ゆっくり組には健脚(ベテラン)が2名入るように編成すべきであった。					
	差額: 8,040								

* 計画者は事務局長、責任者、留守本部者に計画書を事前に提出の事。また参加者にも極力事前に渡して置く事。
 * 会計は氏名欄にチェックを付けて出欠と入金を確認し、極力経費明細を帰着するまでに記入し計画者に渡す。
 * 計画者は実績行程&太枠内を追記し、報告書として事務局長と責任者に提出する(PCでの報告が望ましい)。

鳥栖市

九千部山

河内町

河内町貝方

城山

勝尾城筑紫氏遺跡

鳥栖市

雲野尾峠

御手水の滝駐車場

山浦町
山都町

九州自然歩道

九州新幹線

新築ノ水

御手洗の滝

海軍第四艦隊

石谷山

6.8°

6.8°

6.8°

6.8°

300 m

